



外山のミカン小屋群（砥部町）

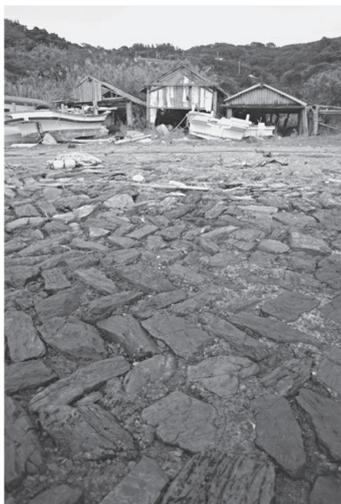
これが先ほどの砥部町のミカン小屋群です。かつては砥部の貯蔵ミカンとして東京にも出荷されていたようです。私にはその辺の記憶はないのですが、戦前だと思います。



大佐田の船倉群（伊方町）

このスライドは船倉群で、伊方町にあります。この辺は海だったのですが、埋め立てられて道路になってしまいました。欲をいえば海が残ってればいいなと思います。

これがもうひとつの松の船倉です。青石でできた舟スベリを含めて、舟屋が残っていました。ここに舟がありますけれども、現役ではないと思います。舟屋というと有名なのが京都府の伊根町の舟屋群で、舟屋とともに背景の山まで含めて、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。かつてこういう舟屋は、京都とか山陰地方に数多くあったのですが、愛媛にも存在したということで非



松の船倉と舟スベリ（伊方町）

常に感動しました。伊根の舟屋は漁業用の舟のガレージですが、こちらの松や大佐田の船倉の舟は何のために使われていたのかというと、農業用に利用されていました。こういった形で使ったか、聞き取りによりますと、肥料用の海藻をとったり、湾岸沿いに農地をもっていたので、舟に鋤とか鍬を入れて通っていたことが分かりました。使い方を含め興味深いものが残っていると思います。松の船倉は、船倉と海岸との関係が分かり、いい残り方をしています。

佐田岬半島には、いろいろ興味深いものが残っているのですが、青石でできた漁港とか護岸が何カ所も残っています。この他にも注目すべき青石の建造物群が、佐田岬半島にはあります。



佐田岬半島の青石防波堤群



後浜漁港の青石突堤

これも南予地域ですが、宇和島鉄道の煉瓦造暗渠です。入口自体はコンクリートで補修されていますが、中に入ってみますと壁は石造りで上部が煉瓦アーチで、高さは8~10mくらいは十分あります。こういった土木建造物が2つ見つかり、非常に感動しました。このような壁石と煉瓦造の大規模暗渠は、全国的に見てもあまり類



長追川 煉瓦造暗渠（宇和島市）